



潮見の宝「ダン」のお話(3年生)

6月14日(金)に3年生が、総合的な学習の時間に、潮見の宝「ダン」について学習をしました。当時のことをよく知る地域の方にお話を聞き、「ダン」から学んだ人々の優しさやつながりの大切さを教えていただきました。エピソードとしては30年ほど前の事ではありますが、それが今でも語り継がれ、学習の素材として活用されていることに「宝」としての意義を感じます。今の子どもたちの心にも十分伝わる内容ですので、「ダン」を通して大事なことを学んでほしいと思います。



【3年生の授業後の感想】

- 今日、お話を聞いて、ダンは目だけではなく、耳や鼻も悪かったことが分かりました。ダンは、いろんな人から命を支えられてきたことも分かりました。潮見の人の思いが、全国の人の心を動かしたのもすごいです。これから僕は、今まで以上に人や動物の命を大切にしようと思いました。そして、「潮見の宝 ダン」も大切にしたいです。
- ダンのためにいろいろ人が募金をしてくれたり、ダンに会いに来るために松山に来てくれたりする人がいることにびっくりしました。そのことが、韓国の人たちにも伝わり、雑誌や本に載ることがあるんだなと思いました。そんな障がいのある人や犬、ねこにも優しくしていきたいと思います。

伝統文化を体験しよう!(6年生)

6月10日(月)に6年生が、総合的な学習の時間に伝統文化の体験を行いました。知っているようで十分知らない、日本の伝統文化(茶道、華道、相撲、剣道)。それらについて、講師の方を招いて体験しました。日本のよき伝統文化を感じられる一日となりました。



【6年生の授業後の感想】

- 私は剣道を学んで、相手に感謝することを知ることができました。講師の先生がおっしゃってくれた「相手がいないと竹刀は振れない」「打って反省、打たれて感謝」そのようなことを思える日本人に対して尊敬しました。日本の伝統文化を紹介できない人が多いと聞きました。でも、私たちはこの機会を通して、調べてみたり、体験してみたりして、紹介できることができました。最初は竹刀の握り方すら知らない未熟者でしたが、今日の体験で、竹刀を振ったり、ルールや歴史などたくさんのお話を知ったりしました。中学校で剣道をしてみようかな、と思うくらい興味がわきました。初めの言葉でも言った通り、私はこの日を待ちに待ちしていました。調べ学習ではすることができない感覚、知識がしみついた気がします。剣道を詳しく教えていただきありがとうございました。

